

## 親子で釣り大会



町主催の『親子で楽しむ釣り大会』が7月31日、藤枝ため池で開催され、親子で楽しい夏休みの1日を過ごしていました。

当日の天気は、とても暑く、魚つりには厳しい条件となったが、参加者は普段使い慣れている『釣り竿』などを持参し、好ポイントで何度もチャレンジしていました。

釣れた魚は、ブラックバス系種など計8匹で、リリースせずに持ち帰るなど日本古来魚の保護に努めていた。

## 金木中相撲部全国大会出場

金木中学校（校長＝大崎哲雄）相撲部が7月31日と8月1日に秋田県平鹿町営相撲場で開催された東北中学校体育大会、第25回東北中学校相撲大会で見事団体優勝し、全国大会出場の切符を手に入れました。

優勝報告に津島祐希くん(3年)、野上怜くん(2年)、前田尋斗くん(1年)、成田勝哉くん(1年)の4人は、大崎校長と同部監督樋口教頭といっしょに鳴海町長を訪れました。鳴海町長は「全国大会での活躍を期待する。頑張ってください。」と激励を受けて、主将の津島くん「昨年のベスト8以上の成績を残します」と抱負を語っていました。



## あしの園盆踊り



大東ヶ丘サントピアホーム（園長＝花田洋三郎）が7月25日、同施設の特設お祭り広場で夏祭りを開催しました。

今年で13回目を迎える会場入り口の沿道には、多数の提灯が飾られ、訪れた参加者をやさしく迎え、中央には夏の風物詩『やぐら』が設営され、郷土芸能の金木さなぶり荒馬や嘉瀬の奴踊り、サントピア登山ばやしなどが披露され、参加者から盛大な拍手が送られていた。

その後、花火の大輪が夏の夜空に咲き乱れ、やぐらを囲んでの盆踊り大会が始まり、津軽の短い夏を楽しんでいました。

## 田中英寿杯争奪小中学校相撲大会

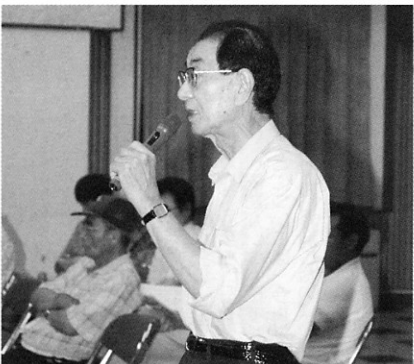
8月8日、金木町営相撲場で第7回田中英寿杯争奪小中学校相撲大会が開催され、県内各校から多くの選手が参加し、団体・個人戦の試合に臨みました。

田中賢一金木町相撲協会会長が「日頃の力と技を十二分に発揮し、母校のために頑張ってください」とあいさつを述べ、団体戦からの取り組みが行われた。会場には、相撲ファンが朝早くから集まり、子どもたちの相撲内容に歓声と盛大な拍手をしていた。

- ◆小学校団体 第3位 金木小学校（石戸谷 優 宗・中谷 光月・白川 康靖・下澤 由）
- ◆小学校個人 1年：第2位 石戸谷黛政 3年：第3位 石戸谷優宗 6年：第1位 白川 康靖
- ◆中学校個人 2年：第1位 野上 怜



## 市町村合併町民懇談会



五所川原市、市浦村との三市町村合併に伴う町民懇談会が8月11日、中央公民館で開催し、町民との意見交換をしました。

鳴海町長が「皆さまのご意見、ご要望をお聞きしたい」とあいさつを述べた後、担当課から『これまでの経緯』『今後の予定』について説明した。

参加者からは「新市建設計画とは」「合併までの協議期間が短く、不安である」「過疎化に拍手がかかるのでは」などの意見が出され、鳴海町長は「皆さんの知恵や意見を拝聴し、今後の合併対策に反映させたい」と話した。

# 議会ニュース

## 伊丸岡勇議員

◎鳴海義勇後援会の会長、幹事長、会計のメンバーについて

「我々の選挙が二月に終り、その後、会派結成時に後援会の役員の方々が口出し、町長も相談したのか。何かしたのか。そういって噂があるが事実なのか。」

### 【答弁】

◎鳴海町長 「会長は中西清彦、幹事長は佐藤政一、会計は須崎悠悦と記憶している。私は一人でも考えるより多い人で考えた方がよい方向にいくと思っておりますので、会長はじめ幹事長、たまたまのお世話をいたした人には、今までも相談をかけるようにしてきました。」

◎現在、町有地の払い下げ申請と侵害について

「町として、現在使われていない土地がまたたいたいばいあると思うので買ってももう努力も必要でないか。そして財源に不足かと思う。払い下げは、申請者だけにやるのか。また、侵害されている人と話をした方がいいか。」

### 【答弁】

◎総務課長 「町有地の払い下げ件数は五件ほどあり、売却については、町長の指示を仰ぎたいと思います。侵害は、一件でございます。本人には口頭でお願ひしており、承諾を得ているのですが、具体的な方法にはまだなっていない。交渉はしてまいりたいです。」

◎指名審査会を指名入札について

「県として町においても非常に事業が少なくなっています。現在、町の業者のランクは何ランクとなっているのか。また、業者は舗装を持っていない建築も持っている。土木も持っているのは水道も持っている。いろいろな資格を持っている業者が大半であるが、専門というものがあろうと思うので、土木を主としていて人は土木、水道を業としていて人は水道と色分けをしてもいいと思う。副業的な業者と機械をたくさん持っている専門的な業者がある。仕事がないと

きは専門的な業者が一番吉しいので入札の段階で考えていただきたいと思うがどう考えているのか。」

### 【答弁】

◎鳴海町長 「指名審査会は、一千三百万円以上の価格であれば指名審査会を開いている。入札のやり方については、ある程度公平にやっていると思う。できれば業者全員に公平にという気持ちはあるが、こういう経済情勢であり、順次、前年間の額をみながら今後執行していきたい。現在の等級は、ABCの四ランクとなっている。専門の業者とこの間ですが、どの辺にラインを引くのかちょっと難しい面もあると思いますが、仕事がない時ですけれども視野に入れないで今後検討し指図していきたい。」

◎職員の採用について

「金木町と市浦村、五所川原市が合併されるような状況にあるなかで、最近、市浦村が三名、五所川原市が十名の職員を採用しているが金木町は一人も採用していない。もし金木町に採用しないのであれば、今後五所川原、市浦とも十分協議し、来年は採用しないよう申し出も必要と思う。合併相手がやるなら金木でもやった方がよいと思うので今後どのような考えを持っているのか聞きたい。」

### 【答弁】

◎鳴海町長 「職員の採用については、五所川原地域の合併が進んでおり、合併した時は職員が相当数余るわけですので、この点は五所川原、市浦も今後は職員採用をしないと思っているが、たとえどうであらうと私は断腸の思いで職員の採用はしないこと決めている。合併しても財政的には余裕がないと思うので、合併協議会においてもできるだけ職員を採用しないように呼び掛ける。」

◎旧養鶏指導所の跡地に金木川の改修について

「町盛鶏指導所の跡地に金木川の改修した上で盛っているが、低い所であればメートル以上の土盛りをしている。柔らかい湿地帯に建物を建てるのができるのか。」

### 【答弁】

◎建設課長 「旧営住宅新築の見通しですが、入居者がいいる状態で建てるため、入居者の移転先が新規団地八十三戸の造成を行っている。県の補助金の決定があれば、初年度で

道路及び上水道の整備を行い、その後四年間で大体年間二十戸くらいづつ建築される予定です。土盛りした土は、当初非常に水を吸って心配され、業者も話しているが、前よりは土も落ち着きたようですので心配しないように思っています。」

### 【答弁】

◎継続事業について

「四、五年という継続的な事業が見当たらないが、現在継続事業はあるのか。以前助役は、継続事業はいよいよやっているとこの話をしていたので何をやっているのか。」

### 【答弁】

◎地方自治法第百二十二条にいう継続費を設定した事業は、現在のところございません。私が言った継続事業の意味は、数年前から手がけている、その計画について、国・県の承認あるいは打合せが済んでいる事業、そして一部着工している事業を称して、私は継続事業と言ったわけで、私の言葉、表現の仕方が粗末だったと思えます。」

◎時田地区道路改良入札はいつ頃になるのか。分けてやるのか。十五年で繰越明許している部分は何か。」

### 【答弁】

◎建設課長 「時田地区道路改良は起債事業であり、県の決定を待っているわけですが、待つだけでなく、議定終了後、町長には県の方へ行ってもう予定です。事業費は約七千五百万円程度、事務局としては田沼な工事のためには三区が限度でないかと思っている。十五年の三月に県から起債の決定があり、ぎりぎり契約した設計業務の繰越です。」

◎除雪について

「十五年は幸い雪が少なく、各業者の稼働率はどのくらいになっているのか。稼働率に差がある理由は何が。また町が委託業者のところに応援に行った話があるが事実なのか。それを町長に報告しているのか。」

### 【答弁】

◎建設課長 「平成十五年度の各市区のパーセントは、川倉地区八・三％、藤枝地区八〇・八％、時田地区九四・四％、喜良市地区八七・八％、嘉瀬地区二号区七四・一％、嘉瀬地区八一・六％、トータルで八四・三％となっている。パーセントが高い時田地区は、除雪と

併せて融雪剤の散布業務もお願ひしているため、パーセントが上がっている。」

### 【答弁】

◎建設課長よりそのような話がありました。余りにもパーセントが上がりにすぎないかといことでも交渉した際は、五、六十万円くらい下げてくれた経緯もある。また業者が余したというより、役場が応援すればパーセントが上がらないといことでも建設課が配慮したと思っている。いつも他の地区より上がっているのは、何か根拠があるのかという気がしているので、それも含めて検討します。」

◎少子、高齢化対策について

「年々子供は少なく、老人が多い、国会等でも年金問題で非常に騒いでいる状況です。我が町でもいろいろ対応しているようだが、子供が三人、四人、五人以上の方の特典を考えてもいいのでは。」

### 【答弁】

◎鳴海町長 「少子高齢化の対応ですが、他町村に比べて引けをとっているかと思っております。子供が少なくなっているのに対して、常任委員会または全員協議会で対応したいと思っております。」

◎公立金木病院職員の定年前の退職について

「定年前の職員が退職している。どういふ訳か私にはわかりません。町長が知っているのなら聞きたい。」

### 【答弁】

◎鳴海町長 「公立金木病院職員の定年前の退職には私も頭を痛めました。辞める理由を双方に聞いて対処しているが、ちょっと我慢が足りない気がする。病院だけでなく、町職員にも言えると思うので、今後は職場の円満を図り対処したい。」

◎スクールの繰引きについて

「教育長が検討してみたいということであったのでその後どうなったか聞きたい。繰引きをはっきりしていかねば、今後問題があると思う。学校側と協議し、その周辺住民、子供たちの親に通知していただきたい。また直せるのなら是正していただきたい。」

### 【答弁】

◎教育長 「次郎、神原方面は、旧時田小学校区で

ある不動神社を利用の基準にしていたが、三年前にいろいろな問題があり、一部見直しをしている。大東ヶ丘、金木団地方面は大東ヶ丘地区だけでは少人数のため、金木団地住民の要望もあり、低学年児童を送迎対象としていたが、今年四月、金木第二団地入り口を平行に民家を含めた範囲を基準に見直しをした。繰引きされた手前はバスで、それ以外は今でも歩いて行かなくてはならないという問題がいつも出てくる。今要望されたことについては、今後学校、教育委員会でも十分審議し検討したい。」

### 【答弁】

◎各課の目標と重点課題について

「各課の目標と重点課題があると思うので聞きたい。」

### 【答弁】

◎総務課長 「最大の課題は、健全町政の維持と考える。各課の問題解決には、財政財源の確保が必至であり、予算編成方針に示したとおり徹底した経費の節減と確実な成人の確保を図り、有効な行政改革の推進を目標としています。」

◎企画観光課長

「観光振興によるまちづくりを目標としている。重点課題として、長期総合計画の作成、過疎地域振興計画の作成、芦野公園と観光施設の整備を掲げている。」

### 【答弁】

◎会計課長 「現在、主に送金による支払をしているが、若干窓口支払もあるので、すべて送金にすることも目標としている。重点課題は特にありません。」

### 【答弁】

◎教育長 「学校教育においては、小学校の二学期制のスタートによる学力向上を目指し、中学校は、社会的合格率を高める指導体制の維持、社会教育は、家庭及び地域の教育力の向上を目指した推進体制の確立を目標としている。課題として、金木小学校と川倉小学校の統合による要望事項の対応、学校評議員制度の導入と充実した学校生活や体育施設、社会教育施設の整備が考えられる。」

### 【答弁】

◎建設課長 「国道三三九号線川倉地区の歩道、側溝整備、主要地方道屏風山内真部線の通年通

行と整備 金木川改修の安全整備と旧河川の跡地整備を県に要望したい。町営住宅の建て替えを早く着手できる体制づくり。土地改良事業は、小田川山線の岩盤斜面の崩落防止を事業のなかに取り上げていきたい。重点課題として、これらの事項を合併に伴って町町建設計画に反映させることとしたい。

【答弁】  
農林課長 「農業所得の向上を図り、複合経営による農業の活性化を目標としている。重点課題として、生産調整の目標達成、転作田の有効活用による農業所得の向上、農業担い手の育成及び転作の不参加者への対応がある。農業委員会については、農地違反転用の防止と優良農地の確保があげられる。重点課題として、遊休農地の解消に努めることと大きな課題となっている。」

【答弁】  
健康福祉課長 「目標として平成十年に策定された第3次金木町総合計画にある快適な居住環境づくりと健康で幸せな人生を送れる福祉のまちづくりです。重点課題として、川倉小学校を利用する統合保育所の整備、中央老人福祉センターの増改築整備がある。」

【答弁】  
税務課長 「目標と重点課題は、適正な賦課と収納対策とされている。不景気による収納率の低下が懸念されるので滞納整理組合の活用等による収納率の向上に努めたい。」

【答弁】  
町民課長 「目標については、合併を想定し、住民サービスの低下を招かぬよう、また関係業務において円滑、迅速、親切を一層心がけることとしている。重点課題としては、住民基本台帳など複雑化する情報システムと機器の対応に習熟を図りたい。」

【答弁】  
水道課長 「水道については、安定した給水を維持するため、既存施設の整備を行い、効率的な運用を図ることです。重点課題として、老朽化により絶えず漏水等が発生している。継ぎ手の亀裂が最も漏れの原因となっているため、徐々に配管、井戸の整備を行いたい。下水道については、住民の促進などに

よる普及を図りたい。重点課題として、町において最も望ましい配水対策を検討し、財政負担などの基本構想の検討、つぎやつぎの計画について。」

【答弁】  
総務課長 「公用車の安全管理者は総務課の職員、副管理者は建設課の職員があつており、道路交通法に規定された、安全運転に従事するためいろいろ配慮をするとうたわれています。」

### 秋元洋子議員

◎太宰治記念館のボランティアガイドとフリーパスについて  
「太宰治記念館は非常に賑わっているが、ボランティアでガイドすることがない。有償ボランティアを考えているのか。それを太宰会の方々にお願いできるのかどうか。六月から十月の観光シーズンに開館時刻を早くできないか。町民の方で一ヶ月に三回も五回もお客さんを連れて入館する時がある。身分を明らかにした写真入りフリーパス券を発行できないか。適当な金額でシーズン中に何回でも入館の券を出せないか。」

【答弁】  
教育長 「太宰治記念館斜陽館の有償ボランティアガイドという場合は、現在予算措置がされておらず、今後検討してみたい。太宰会にお願ひすることはできませんが、シーズンを通してやることは太宰会と話し合ってみます。ただ、ガイドがバラバラの見解がなく、共通の知識とマナーを身につけている人でなければと思っています。ボランティアガイドが必要だと感じることです。審議委員会に諮って前向きに検討したい。町民に今シーズン中にフリーパスを発行できないかとのことですが、案内及びガイドみたいなものも兼ねてきていることですので、毎回入館料を払うのも大変であり、それらも含めてボランティアガイドの組織的な取り組みを前向きに考えていきたいと思ひます。何回でも入れるフリーパスに対し適当な金額を示してほしいとのことですが、お金のことであり、教育委員会の一存とはい

かねない。ボランティアガイドフリーパスも併せて、町長、常任委員会の意見を十分聞き、審議会で検討したい。」

【答弁】  
教育次長 「太宰治記念館の開館時間は午前九時から午後五時までとなっている。開館準備作業に十分程度であり、早く早くやっても五分程度であり、現在は、雨降ったり風の強い日は入り口でお客様の状況により早く開館している。」

【答弁】  
芦野町通学路の拡張について  
「児童の通学時に駐車が多くみられ、非常に危険な思いをさせている。朝の時間規制はあるが、帰りはない。あの道路を利用してショッピングセンターへ買物に行く車の量が多く危険である。」

【答弁】  
鳴海町長 「芦野通学路は、一部拡張しているが、その先となる建物補償等莫大な経費を要する。しかし、何とかしたいと思ひますので、常任委員会等で現地を見て対応したいと思ひている。警察の方にも事故を未然に防ぐようやっていきたい。」

【答弁】  
神明町の側溝について  
「金木高、小中学校の通学路になっているので合併前に側溝の整備をしてほしい。」

【答弁】  
鳴海町長 「神明町の他にもまだまだくさん側溝、舗装整備しなければいけない所がありますが、できるだけ要望に応えたい。」

【答弁】  
神明町のため池について  
「ため池は以前官地であったが、現在は町のものとなっている。ため池のなかに看板があるがどう対応するのか。また、ため池を埋め立てて利用する計画があるか。」

【答弁】  
鳴海町長 「看板については、所有者に撤去するよう要請する。ため池の利用については、以前も議会で討論されてきました。今年、町に移譲され、町内会から集会所の要望もありますが、雨水調整池になっているようです。常任委員会、全員協議会を開いて相談したい。合併前に即決できないと思うので新市へ建設計画に織り込みたい。」

### 加藤 啓議員

◎五所川原市との法定協議が正式に決まり、これに伴い消防・病院・保育所の施設が合併のなかでの位置づけについて  
「五所川原は、保育所をすべて民間に委託している。現在四つある保育所の改修ではだめな状態なのか。合併してすぐ民間に委託とならなくとも二年か三年経てばその流れは見えてくる。川倉小学校に二億以上の経費を投入しても二、三年で民間に委託されるのであれば非常にいい。」

【答弁】  
川倉小学校を観光の拠点として、簡易な宿泊施設、農産物それに類したものの展示、販売所として使うことを考えられないか。改修しても、二階は保育所に使えないものより、旧来の保育所を改修、または二つを一つにまとめればどうなるのか試算があると思うので聞きたい。また、この法定協議メンバーの中に農業委員会の会長、商工または観光関係の代表、医療、更生施設関係の代表を加えることを検討していただきたいの提案です。」

【答弁】  
鳴海町長 「五所川原市との法定協議に向けての消防、保育所の枠組みの見通しですが、消防は、金木以北の四つで一部事務組合を設立しており、飛び地で合併となればどうなるのかと思ひている。また、五所川原市も鶴田町と消防組合を設立しており、複雑な枠組みで大きな課題と思ひている。病院も中里と四分六分で経営しており、その契約書は生きていくと思ひながら、病院の機能再編がどうなるのか検討しながら進めていきたい。保育所は、四つを統合して、民間委託という環境になると思ひ、合併対策室長より補足説明させます。」

【答弁】  
合併対策室長 「合併協定項目で当然協議事項となるが、基本的に金木町と市浦村が加入している津軽北広域事務組合、そして五所川原市と鶴田町が加入している五所川原地区消防事務組合ともそのまま存続となるが鶴田町は板柳町と合併協議を続けており、鶴田町が五所川原地区消防事務組合を脱退し、新たな消防本部をつくるか定かでない。次に病院ですが、解散しない限りそのまま存続する。基本的に金木町は、合併の前日に組合を脱退し、合併の日新たな市として加入することになる。保育所については、基

本的に今あるものはそのまま存続するのが一つの選択肢です。事務事業のなかで、合併時に統合とか、合併後統合となれば公立から民間になることも考えられる。いずれにしても、全員協議会等で意見を拝聴しながら対応すべきかと考えています。」

【答弁】  
鳴海町長 「協議会の学識経験の委員については、いろいろな人と議員にも相談しながら慎重に配慮していきたい。また、川倉小学校については、学区民のいろいろな条件があり、保育所がくるものな賛成というところになり、関係機関にも要請しており、今さら用途変更は無理と思ひているので理解願いたい。」

【答弁】  
健康福祉課長 「個々の保育所改修については、保育所四つを統合するという方向で進んできたので改修を試算したものはない。また第三と第四の統合、第一と第二の統合についても試算したものはなく。」

【答弁】  
白戸栄之助のホームページ掲載の見通しについて  
「金木町にある優れた先達は、町民の大きな誇りで、観光資源としても価値の高いものである。この前、飛行機はあまり全面的でないニューアスもあつたが、川倉の十三観音には飛行機の絵馬が奉納されていて珍しい事例もある。九月までには形をつけていたきたい。この点を助役に聞きたい。」

【答弁】  
鳴海町長 「ホームページについては、五所川原市と合併し、新たに作成されると思うので、金木町の全国に名を馳せたい人を掲載するよう努力していきたい。」

【答弁】  
役 「どういった人を載せるかはもう少し検討を要すると思ひます。経費、期間、委託業者でなければできないのか、職員でできないか早急に検討します。」

【答弁】  
鳴海町長 「現在、駅に隣接する部分は舗装されていない。また農協の前にある土盛りも景観上いかがと思ひます。町の考えを聞きたい。」

「金木駅周辺の整備ですが、原子燃料サイクル事業で舗装しようと思ったが、ノアの交差点をしないのことで見送りにしました。平成二十年度には、再度助成があるようでありますので、できる限り早く舗装整備をしたいと思っております。土盛りについては、線路の下に敷くのに必要と聞いているが津軽鉄道にどこかせるのか確認してみよう。」

●若野公園に対する国 県の予算措置について

「交付税はあるのか。また県立公園の指定によりどのような事業を受ける権利があるのか。景観保全、桜の老朽化に対するものは該当しないのか。噴水近くの木橋通行止めについては、部分対象となるか。整備する際には、どのような方法があるか行政の力を注ぎたい。」

◆企画観光課長

「若野公園に対する国県の予算措置ですが、交付税算入は公園ということでは特別算入はされない。県立公園ということでは県の二分の一の補助制度がありますが、事業内容により限度額がある。補助対象項目は、施設整備で桜の保全は対象となっていない。木橋については、県の方に確認をとり対象になるのであれば早期に申請したい。」

●桜祭り無料駐車券の配布について

「桜祭り無料駐車券を期間中に観光協会として何枚発行しているのか。また、特別会員に無料駐車券を発行しているのか。特別会員のなかで議長、総務と産業の両常任委員長、町長、助役、収入役、教育長とあるが会費はそれぞれが支払っているのか。特別会員に斜陽館、三味線会館のフリーパスを優遇制度とし、それを売りにし、特別会員を募ればよいかと思う。また町観光に關心を持ってもらい、観光協会に加入してもらい、自主的な財源を大きくするよう願っているのだから検討していただきたい。」

【答弁】

◆企画観光課長

「無料駐車券は、二百十九枚発行している。観光協会の特別会員に無料駐車券を特に発行していない。また桜祭りイベント等の方々から要望があれば出している。特別会員の会費ですが、町長の分は公費で支払っている。」

【答弁】

◆鳴海町長

「観光協会の会費を公費で払っていることですが、今後は自費で支払います。また特別会員募集関係については、観光協会の理事会が総会に諮ってみたいと思えます。」

●金木町内の桜の保全について

「若野公園の桜について、緊急雇用の項目で六百五十万円計上している事業の内容について聞きたい。対象となる桜の木は何本くらいを目安としているのか。昨年度の事業と思うがエンセラーの横が入った公園内の桜に縄を張って根の治療中の看板があるが事業の中身について聞きたい。町内の桜について、金木小学校に行く太幸広場の手前にある桜の木が二本伐採され、隣にある四本のうち一本は葉が一枚もない。町の所有ではないが、若野公園と町をつなぐひとつの重要な財産があるような状態にあることをどう考えるか。また嘉瀬の観音山公園、農村公園の桜の上半分が伐採され、幹だけとなっているのでこれについても聞きたい。」

◆企画観光課長

「緊急雇用対策の十八年度の内容ですが、土壌改良、桜、松の剪定等を予定している。予定数量は、土壌改良が五十本、剪定が百五十本を予定している。また、去年の関係で今まで全然手をかけていないので、肥料もやっていないということでもメートルほど掘削し、肥料を加えたものを土に混ぜて埋め戻している。土壌改良しても、効果は二、三年先様子を見なければわからない。木を切らなくても樹勢回復するとの樹木医の判断です。町内の桜の件ですが、桜の木が伐採され、見苦しい状況ですので所有者と話し合いし、桜を生かす要望をしたいと思う。嘉瀬の観音様の桜についても、話し合ってみようと思っています。」

●弘大所有地売却予定について

「弘大では、去年の秋から売却予定地として大きな看板を立てている。この場所について、弘大側から看板を立てる前に町に売却したい旨の話がなかったか聞きたい。また、売却の希望だけで金額的なものはなかったか。あの場所は自然林、または有機米をPRするためにも鉄道を渡る列車がスビードダウンするとき、乗客の目に止まる

場所であり、町として有効活用する方法があると思うがどうか。」

【答弁】

◆鳴海町長

「加藤議員が言われたとおり、非常に景観もよい聞いておりますが、連絡道がないとも聞いていますので買っべき土地なのか皆さんと相談し決めたいと思っております。」

【答弁】

◆建設課長

「あそここの場所は、津鉄で工事をしており、工用仮設道路にと業者が弘大の方に借りに行ったそうです。場所がわからないうことで建設課に来ました。その際、今後売り渡しの計画があるとのことでしたが、金額的なものはなく、売りたいので町ではどんなものですかという程度でした。町長、助役等にも報告しておきます。」

●学校教育について

「先般の三月議会で、教育委員会では三つの目標を挙げ、目標達成のため、学校に指示していると教育長は答弁している。そこで、三つの目標を具体的に内部で議論し、方策を講じているか聞きたい。今学力をあげるため、昔からのやり方で、読み、書き、そろばんをしっかりやらせるようなことについて教育委員会でどのような議論をしているのか。また、一昨日は、金木小学校で運動会があったが、教育委員会から誰も来ていない。長崎の事件があり、子供をはじめ親、教師等は動揺しているはず。子供たちの親だけでなく、親戚までが多数きているなか、教育長はじめ、教育委員が全く姿を見せなかったことについて考えを聞きたい。情採の面ですが、音楽の時間に『赤んぼ』『われは海のこ』とかが文部省唱歌からはずれ、指導することはないとなっているが教育長の考えを聞きたい。」

【答弁】

◆教育長

「運動会の件ですが、どの学校にも出ることを予告しています。当日は、今年で閉校となる川倉小学校を午前中、午後は金木小学校に行き、最後まで見ており、PTA会長の講演後、学区民、保護者にお礼の言葉を述べております。また、金中、南中そして嘉瀬小学校、喜良見小学校にも行ってきました。学校教育については重点をまとめてお答えします。十六年度の教育施策と方針というのは、教育委員会が要約し審議

し、各校長会に示している。まず身体のことですが、学校保健会があり、全校「あすなろっ子」に集約されている。体力については、各校が二年に一回が体力テストを行っている。集計表をみれば大体全国及び県平均並みである。教育委員会として健康マラソン等体力の向上に寄与するよう行っている。学力の問題ですが、高校入学率が非常に低いということで、各学校で指導した結果、本年度は高校九十五%以上となった。

ている。心の問題ですが、生命を尊重する心、他者への思いやりなど美しいものに感動する心と豊かな人間性を旨とした学校教育が行われています。また、学力をあげるため、教師の指導性、指導力の向上、資質の向上のため、校内研修を十分図るよう指導しています。情採面でも指導要領に基づき、原則的にはそれが中心に指導されるが、良いもの、感動するものはどんどん取り入れても良いことになっていく。」

# 国民年金情報

「存知ですか？国民年金」

国民年金は任意加入もできます。

国民年金は老後を支えるために不可欠なことのできない老齢給付、病気やケガで障害が残ったときの障害給付や一家の働き手をなくしたときの遺族給付であなたとあなたの家族をサポートする社会保障制度の一つです。

国民年金に加入している期間に国民年金保険料を納め忘れた期間、免除を受け取った期間等があると受け取る老齢基礎年金が減額され、場合によっては、老齢基礎年金を受け取れないことがあります。

また、国民年金には次のようなメリットがあります。

- 国民年金の老齢基礎年金は終身保障されます。
- 年金の三分の一を国が負担しています。
- 国民年金には保険料が免除される制度があります。
- 国民年金保険料は、全額社会保険料控除の対象となり税金が軽減されます。
- 老齢基礎年金は、公的年金等控除の対象となります。

※ただし、任意加入期間の毎月の保険料は翌月の末日まで納めないとい被保険者資格を失うことがありますので十分注意してください。

- 厚生年金・共済組合等から老齢給付を受けている六十歳未満の方
- 日本国籍を持っている海外在住の二十歳から六十五歳までの方

- 障害・遺族基礎年金は非課税です
- ゆとりある老後を過ごすことができるよう保険料はしっかりと納めましょう。

# X線検査について

放射線技師長 小野武則

## 放

射線は(1)X線やガンマ線など、電波や光の仲間である電磁波と呼ばれる空間を伝わっていく波と、(2)アルファ線やベータ線、中性子線のような、元素を構成している小さな粒子が空間を飛び回っているものの二つに分かれます。また放射線は①病院などのX線発生装置のように機械的に作られるものと、②放射線を出す性質を持った放射性同位元素と呼ばれる物質から出てくるものの二つに分かれます。

放射線を利用し、活用する方法を探り出してきました。私たちが放射線を身近に感じるのは病院でのX線検査です。病気の診断から治療まで重要な役割を担っております。X線は身体の内部を通過しますが、臓器や組織によって通過しやすさが異なります。肺の

ような空気が多いところは通過しやすく、骨は通過しにくいというような特徴を持っております。また同じ臓器や組織でも正常な部位と病変部ではX線の通過しやすさが異なっていることがあります。この性質を利用し、体の中の様子を撮影し、病気の存在や原因を突き止めるのがX線検査です。

## 骨

系撮影や胸部撮影などの単純撮影、そして造影剤を使用して検査をする造影検査があります。

造影剤はX線検査するさいに対象とする目的器官とその周囲組織の間にX線透過率の差をつくり、その器官の位置や形状、大きさ、機能、および病的な変化を明瞭にするために用いられる薬剤です。造影剤にはX線不透過性の陰性造影剤、X線透過性の陰

性造影剤があります。

陽性造影剤にはヨード系造影剤と硫酸バリウム化合物があります。陰性造影剤は空気、酸素、炭酸ガスなどの気体のものがあります。

## 胃

や腸など消化管X線検査は硫酸バリウム製剤など陽性造影剤と空気、炭酸ガスなどの陰性造影剤を併用します。胆のう、肝臓、脾臓や血管造影などにはヨード系の造影剤が使われます。

造影検査では造影剤による副作用が起こることがあります。なかでも多い症状は吐き気、嘔吐、かゆみ、じんましんなどで検査中から一時間後くらいまでに起こることが多く、程度も軽いものがほとんどです。まれに重い副作用として血圧低下や呼吸困難などの症状が出る場合もあります。医師が速やかに処置を行うことで大事に至ることはほとんどありません。

出す写真です。

乳房全体が均等な厚さになるように、透明な板でぎゅつと強く圧迫して撮影します。初めて撮影される方の多くはびっくりする検査です。圧迫するには大きな理由があります。X線撮影は影絵のようなものです。X線を当てたものの中身を透け具合で影に濃淡がでるフィルムに写し出され

ます。乳房の正体が分かる仕組みです。乳房の中にある何かを写し出すために余計な影が入らないように。そこで強く圧迫してなるべく乳房だけを透かして見えるようにするのです。

## 乳

乳房を圧迫固定することで乳房を平たくし薄く延ばすことが出き、しかも動きを制限することで、コントラストのよい像がえられます。

マンモグラフィは手で触れるしこりになる前の早期乳がんを発見できること、乳がんが巣くい始めたサインである石灰化(砂粒より小さな影)が写し出されます。厚生労働省は各自自治体が実施する乳が

ん検診に二〇〇四年度からマンモグラフィの全面導入を決定しました

## C Tomography

TとはComputed Tomographyはコンピュータ断層撮影法の頭文字で、X線を使って体の断面像を連続的に撮影する検査方法です。

X線を出す部分と検出器を対にして回転させ、三六〇度方向から当てて測定するようになったのがCT検査です。これによりCT検査の画像は、身体を輪切りにした断面像になります。通常CT検査は、一枚一枚撮影します。したがって目的部位の断面像を正確に得るためには、少しずつ位置を移動させながら、くり返し撮影していく必要があります。一枚の画像を撮影するのに一秒前後かかりますので、検査時間は撮影部位により異なりますが、約五分〜一〇分程度です。

お便り  
コーナー

# 東京ふるさと金木会

川倉出身者で杉並区在住の中谷秀次郎さんからのお便りを紹介します。

Vol.25

東京へ出て50年になりました。  
なんかあつという間に月日が過ぎたような気がします。

川倉小学校、金木中学校卒業後青森市内の理容院で修行し、東京で頑張ろうと思ひ昭和30年に東京六本木の床屋に就職しました。その頃の六本木は今と違い、とても静かな街でした。24歳で結婚し、現在2人の息子います。独立は30歳のときでした。

東京ふるさと金木会を知ったのは、店に訪れるお客さんが「同業者に青森県の金木町出身者がいる」と教えられたのがきっかけでした。最近では総会、花見会などの行事はいつも参加しています。また、還暦を過ぎてからマラソンを始めて、今はかなりの成績を残せるようになりました。

昨年度に開催された都民生涯スポーツ大会5000mで優勝。同大会800mで2位。青梅マラソンも頑張っています。故郷の同級生たちも頑張っているので私も頑張ります。



【東京ふるさと金木会事務局】 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-3-22 アドニス天野 2F  
加藤税理士事務所内 TEL 03-3942-8825・FAX 03-3942-9171

## 戸籍の窓

8月届分

おめでとう

山中 来巴くれば (純一) 金木

おしあわせに

(原田 靖大 (昇) 中柏木  
(岡本 智子 (行雄) 金木  
(石澤 飛鳥 (祐幸) 車力村  
(白川 千恵子 (源三郎) 金木  
(木村 謙吾 (清一) 五所川原市  
(大橋 ひかる (幸則) 喜良市  
(三濁 洋生 (成太郎) 川倉  
(豊嶋 千鶴 (博章) 川倉

おくやみ

小 林 マツミ (85才) 金木  
秋 元 英一 (87才) 嘉瀬  
今 昭三 (71才) 喜良市  
中 勝雄 (67才) 川倉  
工 藤 三 (75才) 金木  
土 岐 子 (65才) 金木  
鎌 田 とめ (82才) 嘉瀬  
白 川 志 (83才) 喜良市  
泉 谷 幸 (58才) 川倉  
大 橋 光一 (62才) 喜良市  
神 島 ミチエ (75才) 嘉瀬

この欄は金木町に住所を有している方を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

## 伝言板

◎届いています

- 七月十三日 芦野公園内 財布(黒・二つ折り)
  - 七月十七日 芦野公園内 ゲームボーイ(銀色)
  - 七月二十四日 芦野公園内 ゲームボーイ(灰色)
  - 七月二十六日 寺町停留所裏 自転車(赤色・カゴ付)
  - 七月下旬 町内 手提げ金庫
  - 八月三日 嘉瀬小学校前 自転車(緑)
- 心当たりの方は金木警察署落し物係まで

このコーナーを利用したい方は企画観光課まで

## 人口と世帯

|     | 7月末現在   | 前年同月比  |
|-----|---------|--------|
| 男   | 5,484人  | △ 89人  |
| 女   | 6,112人  | △ 90人  |
| 計   | 11,596人 | △ 179人 |
| 世帯数 | 4,078   | 9      |